

授業科目名	アートイベント論		担当教員名	小野田 金司		
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修/選択	2	3・4	秋学期	木・1	講義
授業概要 <p style="text-align: center;">六甲山を中心に9月18日より11月23日まで実施される アートプロジェクトイベント「六甲 MEETS ART」に参加します。 (運営ボランティア、アート制作サポートなど) 阪神電鉄グループが行う「アートイベント」による六甲の観光再生事業を調査研究します。</p>						
到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. アートイベントの構造の理解。 2. 運営ボランティアとしての業務の確立。 3. 来場者動態調査などを実施し、主催者へのレポート提案。 						
授業方法(展開) イベント開催中は、イベントスケジュールに合わせて、現地でのフィールドワークを中心とします。 イベント終了後は、データのとりまとめ、分析作業をチーム別を実施します。 最終的に来場者データ報告書を作成します。						
関連科目・知識・スキル 観光プロモーション論、イベントビジネス論、エンタテインメントビジネス論 PC スキル						
成績評価 実践業務の遂行度 60%、調査報告書の作成スキル 40%						
教科書・参考書など 企画書、実施計画書など 授業にて配付						
履修上の注意事項 11月下旬までのイベント開催中は、イベント内容などにより授業時間はイレギュラーになります。 会場までの交通費は、主催者側より支給される予定です。 極力他の授業に影響のないよう配慮しますが、一部(前日)は授業を休む必要があるかもしれません。 他の教科の担当教員には授業配慮をお願いします。 授業の遅刻は厳禁、理由のないものは欠席扱い。授業中の私語、携帯電話の使用も禁止。 パソコンは必要です。						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

第1回 イベント概要講義、スケジュール確認

第2回～第11回 フィールドワーク

4回程度正規の時間外に授業を実施する予定です。

イベント時間によっては2回分の授業を1日で行う場合があります。

第12回～第15回 データを分析、調査報告を作成

<外部講師について>

プロデュースを担当する財団法人彫刻の森美術館や阪神総合レジャーサービスなどからのゲスト講師を数回予定しています。

定期試験はレポートとします。

希望者は9月の作品制作から関わる事が可能です。

他の授業(調査研究、実践研究)と合同になる時もあります。

学生への一言

六甲 MEETS ART は、六甲の自然、歴史、文化を生かした新しいアートイベントです。

現代アートは彫刻をおくだけではなく、

様々なパフォーマンスやワークショップが特徴です。

この運営を手伝うことで、新しい神戸の観光地づくりに一役買しましょう。

光のイベントやロックイベントなど多彩なイベントも計画中です。

このプロジェクトには大学では本学だけが正式メンバーとなっています。